

二中学区地域の輪をつくる会

3つの誓い

- ・ふれあいの輪を 広げましょう。
- ・あいさつを かわしましょう。
- ・明るい家庭生活を 築きましょう。

vol.87

ふくわ

●発行 二中学区地域の輪をつくる会 ●編集 広報委員会 ●事務局 市毛コミュニティセンター内・ひたちなか市市毛980・TEL.029(272)3766 ●印刷 弘美印刷(株)

第24回二中地区秋季大運動会

平成30年10月7日(日)

優勝 堀口

準優勝 津田東

第三位 津田第一



V2へ(堀口)



最後まであきらめないぞ!!(津田東)



息を合わせて(津田第一)



ヤッター!念願の玉入れ1位!!(市毛北)



気合いを入れて、そ~れ!(津田第三)



チーム一丸となり勝ちに行く(津田第二)



ゴールに向かって全力疾走!(津田西山)



超快速!この種目V1達成!!(市毛南)



団結力を発揮しました(枝川)



団結し、ガンバロー!(勝田本町)



今年は力強い!!(武田)



兼山大会会長に健闘を誓う



ご芳志有難う
ございました。

(順不同)

- 御所野接骨院 様
- 鹿島神社 様
- 総代 照沼 祐輔 様
- 茨城県信用組合 勝田支店 様
- 街商組合 安政男 様
- 市毛北 様
- 市毛南 様
- 勝田本町 様
- 勝田東 様
- 勝田第一 様
- 勝田第二 様
- 勝田第三 様
- 津田東 様
- 津田第一 様
- 津田第二 様
- 津田第三 様
- 津田西山 様
- 市毛南 様
- 枝川 様
- 武田 様
- 兼山 様

二中学区秋季大運動会
ご芳志一覽

三大多行事の1つである第24回「二中地区秋季大運動会」が10月7日(日)勝田二中グラウンドにて開催されました。今年も好天に恵まれ、計画通りの大会ができました。各地区ごとに出陣式を行い開会式に臨みました。

各種目では、練習を重ねた選手たちが懸命に競技にチャレンジしました。今回も、大勢の参加者により盛大に開催ができ、地域交流の場となりました。

1面 大運動会

2面 夏まつり・実践部会活動 他

3面 ふれあい会議

4面 市民会議

5面 地域トピックス 他

6面 敬老会・自治会自慢 他



頑張れ! もうすこし

掘口自治会 7・28(土)・29(日)



元気に子ども会太鼓競演

津田五自治会 8・5(日)



山車引きが始まります!

勝田本町自治会 8・4(土)



夜の広場にひびく笛・たいこ!

武田自治会 8・5(日)



盆踊りの競演でまつりは最高潮!!

実践部会活動報告

趣味の教室を開催

文化部会

7月1日(日)に群馬県赤城山の覚満淵湿原で趣味の教室を20名の参加の下実施しました。例年になく早夏の梅雨明けにより、心配していた天候も好天となりました。

高原のさわやかな風を存分に感じながら湿原の散策・自然観察を満喫しました。

高原を後にして赤城神社へ向かうと、何と熱波の歓迎を受けました。

赤城神社では、この旅が無事終えることを祈願して趣味の教室を終えることができました。

赤城神社にて



赤城神社にて

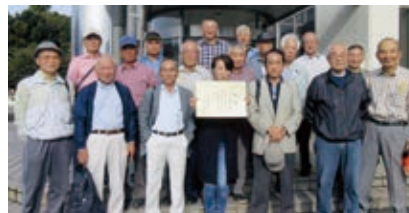
市美化コンクールで優良賞

環境部会

初参加したロード部門の審査が7月12日(木)に行なわれた。3月に種をまき5月に30ヶ所の花壇に600本のサルビアを定植。7月の審査に合せて散水と除草に汗を流した。

今年度は異常な暑さで6月に梅雨明けし、予定より20日も早く花は満開。時期調整の難しさを肌で感じた。真赤に咲いたサルビアの道は、通る人々に安らぎを与え、手入れ時たくさん感謝の言葉を頂いた。

賞状と環境部員



賞状と環境部員



津田運動広場横のフラワーロード

安全運転呼び掛け

安全福祉部会

7月20日(金)に市毛交差点において交通事故防止啓発活動を実施しました。

当日は、ドライバーの方々へチラシやグッズの手渡し、安全運転の声掛けなどを行いました。



交通事故防止呼び掛け運動

地道な活動の積み重ねによって安全運転の意識がさらに高まってゆくことを期待します。



体験学習②

青少年部会

9月30日(日)に台風が近づくなか、市毛コミュニティセンターを会場に「お月見だんごをつくってみよう会」を77名の参加を得て開催しました。

子どもたちは、お月見の話を聞いた後、大人の助けを借りて自分たちで一生懸命にだんごをつくり、けん玉などの昔遊びやバルーンアートのお楽しみをさざづくりを楽しみました。

最後に仲良くだんごを食べて、楽しい時間を過ごしました。

今年度の活動内容紹介

体育部会

今年度は6月のバレーボール大会、ソフトボール大会、高齢者レクリエーション大会を実施し、開始前にはノルディックウォーキングを紹介した活動を終えました。

秋季大運動会では真夏を思わせる暑さの中、大勢の参加をいただき盛大に開催することができました。

また地域の交流の場ともなり、協力に感謝いたします。

ソフトボール大会



ソフトボール大会

お月見会の開催

ワイワイふれあい館

9月24日(月)市長、市議会議長はじめ地域の方々約130名のご参加をいただき恒例のお月見会を実施しました。

小雨のばらつく空模様で開催が危ぶまれましたが、午後5時の開催直前には回復し、すばらしい中秋の名月をめぐることができました。今回は新たに津田ドレミファバンドの方々による生演奏も加わり盛り上がったお月見会となりました。



お月見を楽しむ参加者

子どもふれあい館まつり

子どもふれあい館

8月19日(日)に第3回子どもふれあい館まつりを実施しました。テーマは夏休みの思い出に「思いっきり遊んでまたがんばろう」で、近隣の子どもたちが来館し盛大にできました。

特に今回は従来の焼きそばに加えカレーライス販売、また遊びコーナー

ではお祭りの太鼓体験に人気を集めて大にぎわいとなり、主催者側としてうれしい悲鳴をあげた次第であります。



高齢福祉等推進事業の実現に向かって

― 市民会議での提案を受け「ふれあい会議」を設立 ―

超高齢社会を迎えて、市民会議で話し合いがされた「二
中区高齢福祉等の推進事業」を実現するために、「二中地
区ふれあい会議」が設立されました。

この会議では、寝たきりや認知症予防など、高齢者が抱
える課題について、地域で何ができるかを話し合い、誰もが
住み慣れた地域で安心して、生き生きとした生活の実現に
向けた方策などを検討していきます。

市民会議を設立し高齢福祉等の 推進事業実施方針をまとめる

二中区市民会議では、超高
齢社会の中で、高齢者が明るく
元気に過ごすことができる社
会づくりに、地域と行政(市)が
協働で、どう取り組んでいくか
を、考えてきました。

平成28年12月6日に第1回
目の市民会議を開催し、その後、
先進地である平塚市の「町内福
祉村」を視察するなど、7回の会
議を開催して、2月6日、「二中
地区高齢福祉等推進事業実施
方針」がまとまりました。

2月20日、本間市長へこの推進
事業実施方針を報告し、実現に
向けて提案書を提出しました。



兼山会長が「ふれあい会議」設立趣旨説明



ふれあい会議でグループ討議

二中区の高齢者の現状

二中区の65歳以上の人口
は、平成29年が約6千2百人で、
平成25年と比較すると約450
人増です。その内75歳以上は約
3千2百人で、約600人増と
なっています。二中区の総人口
に対する高齢化率は、65歳以上
が25%、75歳以上が13%となっ
ており、市全体と比較しても、高齢
化率は高くなっています。

今後、地域住民の高齢化がますます進むものと予測されています。二中区においても、高齢福祉を推進する拠点や体制づくりが求められています。

ふれあい会議

ふれあい会議を設立

地域における支えあいの体制
をつくり、高齢者サロンの立ち
上げや地域でできる支援策を
検討し実現するため、「ふれあ
い会議」を、5月22日に設立し
ました。

会議で何をやるの？

- ① 地域の高齢者の課題の集約
- ② 地域の高齢者の課題の解決法についての検討・方策
- ③ 地域の人材や施設などのネットワークの構築
- ④ 地域福祉を推進するため、市民毛コミユニティセンター(活動支援員)の配置の要望・実現

会議のメンバーは？

- ・ 二中学区地域の輪をつくる会 正副会長および会計
 - ・ 各自治会の代表
 - ・ 民生委員児童委員の代表
 - ・ ワイワイふれあい館の代表
 - ・ 二中区高齢者クラブの代表
 - ・ ふれあい電話相談室の代表
 - ・ 特別養護老人ホームの代表
 - ・ 保健推進員の代表
 - ・ 地域包括センターの代表
 - ・ 市社会福祉協議会の担当
 - ・ 市健康推進課、高齢福祉課、社会福祉課のそれぞれの担当
 - ・ 学識経験者
- それぞれ分野で、超高齢社会の中、何が求められ、地域として何ができるのか、実現するには各団体がどのような支援ができるかなどを、話し合っています。

設立からの活動は？

- ① 設立会議 5月22日
規約の制定、役員選出、幹事委員の選出および今年度の事業計画、予算について審議し承認を得る
- ② 第2回会議 8月22日
・ 多世代サロン「茶房ふるさと小町」の立ち上げまでの流れについて、立岡前津田東自治会会長と七戸津田第三自治会会長および渡邊祥子ふるさと小町代表から基調講演をいただきました。

おさらい 市民会議って何だった？

市民会議って、何だった？
本紙「ふくわ」第82号・85号の特集号に掲載しましたが、もう一度、おさらいをしたいと思います。

地方分権時代において、国と地方の果たす役割が大きく変化しています。市民である私たちは、今まで以上に市政へ関わり、自らの責任で、自立したまちづくりを進めていくことが求められています。

ひたちなか市は、平成22年4月1日、「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定しました。

この条例では、市民としての自覚と責任をもち、行政と適切な役割分担をし、自立と協働のまちづくりを進めていくことが求められています。また、これからのまちづくりは、私たち市民が主役です。

私たち市民が抱えている「まちづくり」に関する課題や市の施策などについて、市民と市が自由に意見交換を行うため、「市民会議」の設置も条例で規定されています。また、会議で提案され、公共の利益の増進に効果があるとの合意がされた結果は、市の施策に反映するように努めることも規定されています。

二中学区では、平成27年6月から老朽化した「津田コミュニティセンター」の今後のあり方



くらし協同館視察

いたようです。
この会議で、堀口自治会は刺激を受け、サロン立上げに向け検討を始めました。

高齢者が明るく元気に過ごすことができる社会づくりを、地域と市が協働で、取り組んでいきます。事業を推進するためには、地域の皆さまのご理解とご支援が大切です。

および平成28年12月には、「地域福祉の充実と実践：ワイワイふれあい館をケーススタディとして」二中区高齢者対策推進についての二つのテーマを、市の関係課などを交えて市民会議を発足し、検討してきました。

津田コミュニティセンターの今後のあり方については、自治会や利用団体からアンケート調査を行ったり5回の会議を開催して、8月20日、市民生活部長へ提案書を提出しました。

一方の二中区高齢者対策推進については、先進地である平塚市の「町内福祉村」を視察するなど、7回の会議を開催しました。今年2月6日、「二中区高齢福祉等推進事業実施方針」がまとまり、同月20日、本間市長へ実施方針を報告し、実現に向けて提案書を提出しました。

現在、市民会議の方針を受けて、5月に「二中区ふれあい会議」を設立し、具体的な事業の実現に向けて、話し合いが進められています。

二つのテーマを設け並行して話し合いを進め、方向付けができましたので、それぞれ提案書を市に提出することができました。今年度は、この提案を具体的に進める準備期間とし、来年度は、新たなテーマで市民会議を開催する予定です。

「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」の市民会議の規定にふさわしいテーマがありましたら、ご提案をお願いします。

市民会議 「津田コミセン」の今後のあり方

福祉や図書館機能を備えた施設を目指す

— 市へ報告・提案書提出 —



築45年…老朽化した津田コミセン

「津田コミセン」の今後のあり方検討委員会の経過

津田コミュニティセンターは、昭和48年に開館されました。現在では、年間約3,000件の利用があり、地域に必要不可欠な施設となっています。

地域の中核的役割を担ってきたこの施設は、開館から45年が経過し、建物の老朽化が進んできました。また、平成26年度から施設の管理運営が、市から「二中学区地域の輪をつくる会」へ移管されました。

このような現状を踏まえ、「二中学区地域の輪をつくる会」では、平成27年8月、まちづくり市民会議の分科会として「津田コミュニティセンターの今後のあり方について」の検討委員会を設置しました。

委員会は、津田の五自治会から代表者各1名、コミセン職員2名、地域の輪をつくる会から

4名の計11名で構成され、将来に向けた基本構想を策定するため、市の関係部署と協議を進めてきました。

委員会は設置以降、平成30年6月までの3年間で5回開催され、津田コミュニティセンター（以下「津田コミセン」）が地域のまちづくりの拠点として、今後どうあるべきかの検討が重ねられました。その過程において、地域の考え方を明確にする必要があると考え、地域住民や利用者へのアンケート調査を実施しました。

アンケートへの関心が高く、95%の高回答率でした。これらの内容をふまえ、次の項目を中心に検討が進められました。

地域の中核施設としての役割

津田コミセンは、市内にある同様の機能を有する施設と比較し、利用率が断トツ

に多いことが分かりました。また、地域住民の7割が利用していることも分かりました。

利用目的を見ると、趣味や教養を高め地域の活性化を醸成する場所として、また、住民のコミュニティ活動の拠点となっています。なお、災害時においては、市の指定避



難所として、地域防災の拠点となっており、地域として重要な施設の役割を担っています。アンケート調査においても、地域の中核施設としての重要性を感じている回答が多く寄せられました。さらに、施設内にある図書室は、市の中央図書館の分館として位置付けられており、蔵書のさらなる充実と合わせて、閲覧室の拡充などの要望もありました。

高齢化社会への対応

津田地区の人口は、現在約11,600名で、市内でも団地造成・販売の先駆けの地域であり、他の地区同様に高齢者が年々増加しています。近年、この傾向が著しく、今後、津田地区の住民が、市の中心部にある公共施設を利用するには、距離的に、ますます困難になることが推測されています。

利用しやすい施設としての対応

現在の津田コミセンの面積は、他のコミセンと比較すると狭く、利用者へ不便をかけている現状です。特に、敬老会などの大きな行事を開催する際には、部屋が狭隘なこと、複数の部屋を通して使用したり、参加者を限定するなどの工夫をしながら開催している現状です。

アンケート調査結果でも、200名程度が収容可能なホールや少人数で気軽に利用できる談話スペースなどの要望や意見が多数ありました。また、情報化社会の中で、インターネットなどを活用し、最新の情報が得られるコーナーの設置や身障者や高齢者が使いやすい、施設のバリアフリー化などに対する要望も多数ありました。

耐震性を備えた施設

津田コミセンは、開館以来、災害発生時の市の避難所として、また、地域の防災拠点としても指定されています。しかし、東日本大震災時には、施設の一部が損壊する被害を受けました。なお、施設の一部が木造づくりであるため、現状では、避難所としての耐震性が不十分であると考えられます。

検討委員会がまとめた提案書を市へ提出

— 建替えが最善の解決 —

現況は、鉄筋一部木造平屋建て建築面積731・28平方メートルで、事務室、大会議室、和室、実習室、研修室、茶室、集會室、図書室が設けられています。これらの状況を勘案すると、現在の施設は増築や修繕を重ねてきており、更なる増改築は限界と推測されます。安心安全な中核施設として、建替えることが最善の解決であることを提案しました。

いしました。

8月20日、委員会で3年間、検討してきた結果を、委員会代表11名が市役所を訪れ、市長代理（須藤市民生活部長）へ提出し、内容の説明を行いました。また、9月3日、市議会議場棟を委員会代表9名が訪れ、二中学区在住の市議会議員の清水議員、佐藤議員、三瓶議員、大谷議員、弓削議員へ本提案の内容について、説明し、協力をお願い



津田コミセンの今後を考える検討委員会

提案の早期実現に期待

「津田コミセンの今後のあり方検討委員会」は9月末を以って解散しました。

今後は、本提案の早期実現に向け、二中学区としても、市の関係部署と連絡を密にしなが

地域トピックス

東京本所防災館体験学習

津田西山自主防災会

自主防災会役員4名が防災意識向上教育の一環として、東京本所防災館で体験学習を行いました。テーマは「助けられる人から助ける人」で、都市型水害始め種々の類似災害の体験をしました。最近日本各地で地震や水害等の災害が発生しており、改めて「助ける人」として何ができるのかを考える機会をいただきました。



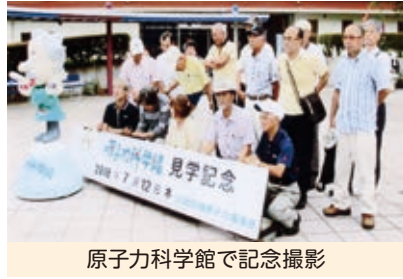
東京本所防災館にて

公共施設視察研修会

津田東自治会

7月12日(木)に会員20名で、東海村の原子力科学館、市内にある環境放射線監視センター、大洗の原子力研究所を見学しました。

今回の視察で、原子力はエネルギー源や医療向上に欠かせないが、反面取り扱いは誤ると、私たちの生活を脅かす重大事故に繋がることを、あらためて学びました。



原子力科学館で記念撮影

秋尾神社の再建なる!!

武田自治会

2013年、火事で焼失した秋尾神社は、この度、氏子さん達や地域住民の熱い思いで再建されました。

かやぶき屋根だった前神社から、赤い銅板屋根へとスマートな佇まいに変身しております。

甲斐武田氏発祥の地「秋尾(ぬまお)神社」を訪れて、遠い戦国の世を偲んでみるのはいかがでしょうか。



再建された秋尾(ぬまお)神社

防災訓練を実施

勝田本町自治会

9月1日(土)市の総合防災訓練にあわせて、総勢39名参加のもと、防災訓練を実施しました。

今回は、歩行困難になった自治会住民の避難対応を学ぶために車椅子を用意し、指定避難所(堀口小学校)への避難誘導訓練を行いました。

訓練後の意見交換で、車椅子を伴う集団でルート移動する際の問題が示され、防災意識が共有されました。



避難誘導訓練

市毛北自主防災訓練

市毛北自治会

9月1日(土)市の防災訓練のサイレンを合図に、勝田二中体育館前に災害対策本部を設置し総勢150名が参加して防災訓練を実施。組長、民生委員による各組員と要支援者の安否確認、情報伝達訓練を皮切りに、給水、炊出し訓練を実施しました。



消火訓練の様子

「元気アップ体操」が300回を迎える

堀口自治会

高齢とともに衰える筋力の維持や脳トレなどを行い、健康寿命を延ばすため、平成14年11月11日に、堀口「元気アップ体操」を市内で最初に開催しました。この体操も10月26日(金)開催で、300回を迎えました。

歴代の保健推進員、元気アップサポーターの「地域を思う」熱心な活動で、平成26年には、「健康茨城21元気アップ大賞」を受賞しています。



いつまでも若々しく「元気アップ体操」

防災訓練の実施

津田第二自治会

9月1日(土)市の総合防災訓練にあわせて、津田集会所と津田小学校に96名が参集し、防災訓練を実施しました。



要支援者の救護

枝川地区防災訓練を実施

枝川自主防災会

7月1日(日)枝川地区では、那珂川クリーン運動に併せて防災訓練を実施しました。

当日は集合場所である河川敷へ、住民が各班毎に避難訓練を兼ねて集合し、130人が参加して訓練をしました。

清掃作業後に転作センターで、消防署の指導による「救急救命などの講習」も行いました。毎年過去の水害経験をもとに安否確認や避難誘導等の訓練を行い、防災意識の向上を図っています。



各班毎に避難誘導訓練を実施

充実した防災訓練

市毛南自治会

去る9月1日(土)市毛南自治会は、防災訓練を実施しました。朝方の雨もやみ、70名の参加者が参集訓練、機械類の点検、水消火器での消火訓練、フレスキンプルタンクによる給水訓練などを行いました。

廃材でお湯を沸かし、保存食のカレーピラフを作り、皆で試食しました。当日は住民同士の交流もはかれ、充実した防災訓練となりました。



発電機が始動!

「ねらい定めて!」自主防災訓練

津田第一自治会

6月24日(日)津田コミセンで自主防災訓練を実施しました。戸外では水消火器での初期消火やテント設置、発電機の作動訓練を行い、室内では毛布を利用した運搬法や三角巾を使用した手当の仕方の訓練を受けました。

明日にも起こりうる災害に備え、日頃より「自助↓共助↓公助」を忘れず、自分の身は自分で守り、地域で助け合う「お互い様」の精神を持つことが大切であることを再確認しました。



自主防災訓練

防災訓練

津田第二自治会

9月1日(土)自治会コミュニティ広場において、市の総合防災訓練にあわせて大地震を想定し、避難訓練および初期消火訓練を主体に防災訓練を実施しました。

9時の市のサイレンを合図にスタートし、組ごとに集まり、その後コミュニティ広場に集合しました。あいにく小雨にもかかわらず230名の方に参加いただき防災意識を高めました。



小雨の中多数の方が参加

第20回健康づくり歩く会

保健推進員

6月17日(日)健康で楽しく生活することを目指した「歩く会」を好天のもと各地区より90名の参加者で開催しました。

堀口小体育館で、(株)THFの若葉京良先生によるウォーキングの効果など健康維持に関する講話を頂きました。

ウォーキングアップの後、整然と出発。小堀江沿いなどを1時間30分で、楽しく整然と歩きました。健康には歩くことが大切であると実感できた一日でした。



健康づくり歩く会の様子



津田第一 (9/8)



武田 (9/8)



津田西山 (9/9)



津田第三 (9/17)



枝川 (9/9)



勝田本町 (9/16)



市毛南 (9/17)



堀口 (9/9)



津田第二 (9/16)



市毛北 (9/15)



津田東 (9/15)

限りです。の、何と、届けられる、な水道水が、に安全安心、民の皆さん、市毛から市、います。こ、が行われて、れ現在工事、円が投じら、平成32年度、の劣化や設備、上が経過して、年に建設され、割を担う上坪、ひたちなか市、



工事中の上坪浄水場

「上坪浄水場」について
市毛北自治会
自治会自慢

役員視察研修会
二中学区地域の輪をつくる会
8月29日(水)～30日(木)の2日間の行程で、役員視察研修会を新潟県上越市で行いました。高齢者の見守りを地区単位で行う生活支援コーディネーター制について、市や地区協議会より説明を受けました。同制度の運用で介護度の向上が図られたとの説明もあり、活発な意見交換が行われました。その後、懇親会や赤城山西福寺などを見学を行い、役員間の懇親を深め、有意義な研修会でありました。



役員視察研修会参加者一同

編集後記
年を追うように天変地異も激しさを増し、今年も連日の猛暑・大雨・地震と、犠牲にられました方には哀悼の意を捧げます。
今年の大運動会、前日は寒かったものの、当日は絶好の運動日和、暑いほどでした。
「ふくわ」の写真で雰囲気を感じていただければ幸いです。



- ◆ **輪投げ大会**
主催 勝田本町自治会
期日 12月1日(土)
場所 勝田本町自治会館
- ◆ **第35回津田コミュニティセンターまつり**
主催 津田コミュニティセンター
期日 12月2日(日)
場所 津田コミュニティセンター
- ◆ **第35回枝川ふれあいまつり**
主催 枝川自治会
期日 12月2日(日)
場所 枝川転作センター
- ◆ **子どもふれあい館クリスマス会**
主催 子どもふれあい館
期日 12月8日(土)
場所 子どもふれあい館
- ◆ **ワイホイまつり**
主催 津田ワイワイふれあい館
期日 1月中旬
場所 津田ワイワイふれあい館
- ◆ **ふくわの集い(音楽芸能発表会)**
主催 二中学区地域の輪をつくる会
期日 2月3日(日)
場所 市毛コミュニティセンター

案内板